

ふるさとにっこり通信



自民改革会議
静岡県議会議員

あつ ゆき 県政報告 らち淳行

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

第23号 2017.8



平成29年6月定例会

危機管理くらし環境委員会にて質問



危機管理くらし環境委員会の 質問内容とその回答について (二部抜粋)

北九州における 豪雨被害に対する 現地調査について

質問

今回豪雨災害が大きく被害を受けた福岡県、大分県の被災地調査のため、県の職員が3名、現地のほうに派遣されたと聞いていますが、その災害からほぼ1週間、現地に入ったということ、各被災地調査の現場から得られたことは何か？

豪雨災害を受けて、今後県として取り組む必要性があると感じた課題は何かあったか。また、被災県から本県に対する支援要請があるのか、ないのか？また、その静岡県から被災地への支援を開始する予定があるのか？

回答

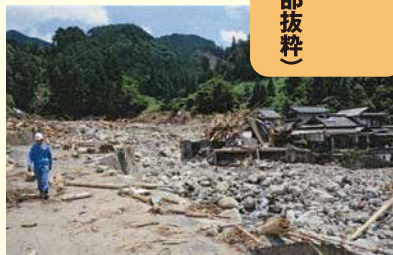
今回現地では、非常に集中的に特定のところに本当に雨が降り、下流域の大きな河川（筑後川など）はそうでもないが、その流域にある谷部分にある中小の河川にすく大きな被害が生じたという報告がありました。

課題としては、避難準備情報、避難勧告等をいかに適切に発信できるかという点であり、それを県としてもサポートしていく必要があると思います。

現地では、近隣の都道府県による支援で足りているという情報も入っております。それ以外



朝倉市立比良松中学校の被災状況



家屋の被災状況



避難所・ボランティア状況



ライフライン復旧状況

地震・津波対策 アクションプログラム 2013の推進について

質問 昨年度の平成29年度2月のアクションプログラムの見直しをしたばかりでもありますが、改めて見直しをする必要性があるのか？

回答 目標はあくまで平成34年度までに犠牲者8割減ということとでございます。これを達成していくために必要な対策というのは、随時検討していく必要があると思っております。

空港利用をした アジアの諸国の 防災交流の推進

質問

台湾は防災に対する関心が高く、本県の防災先進性を高く評価しているということで、交流が深まるということは良いことだと思ふ。この6月には、本県の消防職員3人を台湾のほうの訓練センターへ教官として派遣したとのことですが、教官の派遣は余り例のないようなことだとも思ふ。まずこの派遣の目的とその成果については？

それと来月に、今後本県の消防学校ですけれども、訓練センターの職員を受け入れるという予定のようですが、6月の派遣との関係はあるのか？

富士山静岡空港の就航先の交流状況について、日本貿易振興機構ジェトロとの連携、そして静岡県の防災用品等の普及促進協議会の交流事業の支援をしていくことがあるのか、またどのような支援を行っていくのか？

回答 台湾の訓練センターを訪問した折に同行した消防職員が三連はしごを御紹介したように、交流がさらに深まっていくことになれば、お互いの消防力強化にもつながると思えます。施設の相互利用しながらお互いの消防力の向上につながっていくばと考えています。

防災用品普及促進協議会に対する支援については、協議会のほうでは、ジェトロの事業の採択を今年度から受け、事業に取り組んでおります。

大規模災害等に 備えた計画的な 訓練の実施について

質問 私もこの間は、国交省主催で狩野川で訓練が実施されたときも伺わせてもらいました。地元としては反省点を含めて訓練に臨んでいくことになると思いますが会場の位置が本当にあれでよかったのか？

沼津市、裾野市と清水町、長泉町の2市2町がメイン会場で行わ、今回の訓練の特色というのは何か？

今後を含めて総合防災訓練を通して、県は県民に対してどのようなことを伝えていくのか、そのための訓練をどのように行っていくのか？

回答 狩野川連合水防演習・広域連携防災訓練は狩野川に対する台風の教訓を風化させないというふうに実施させていただいた訓練でございます。

2市2町の訓練は県から受け

た荷物をさらに避難所のほうに細かく分けて届けるという、実践的な訓練を実施したいと考えております。

県の総合防災訓練は南海・東南海を想定した地震対応訓練で県と市町が中心となって実施していきます。

弾道ミサイルを想定 した住民避難訓練の 実施結果について

質問 弾道ミサイルの想定で住民避難の訓練を実施しましたが、訓練の課題として、「Jアラームによる避難の指示が発せられた際、ミサイル飛来までの時間的余裕がないため、住民個人での判断が困難である」とか、「周辺地域での着弾等の初動対応以後の対応要領が不明確である」と記載されているが、こうした課題に対して、県はどのような対応を考えているのか？

回答 Jアラートが発報の際には、初動体制としてどのような

行動を住民がとればいいのかという点に関しまして、実際に訓練が実施できたものと考えております。

初動体制機構の問題にしましては、国のほうにそれについて検討結果等をいただいでいくようにこれからも働きかけていきたいと思っております。



移住・定住の 促進について

質問 移住相談センターの設置から今2カ年が経過しました。説明資料によれば相談窓口の利用の県外からの移住が787名と、平成27年から393名に、比較して大幅に増加するなど一定の効果が現れているようにも見えます。県として、これまでの取り組みをどのように評価し、今後どのような点からの課題があるのか、認識しているのか？

回答 移住相談件数及び移住者数につきましては、前年度の約2倍となっております。今後の取り組みにつきましては、1月に全県規模の移住相談会を開催いたします。

また、西部地域を視野に入れます。

して、中京圏、関西圏のほうに情報発信、相談対応をしていきたいというふうと考えております。

移住者数及び相談件数の実績	H28	H27
県外からの移住者数	787人	393人
県及び市町の移住相談窓口等を利用した県外からの移住者数	517人	223人
静岡U・I・ターン就職サポートセンター等を利用した県外からの移住者数	270人	170人
相談件数	5,755人	3,046人
県及び市町の移住相談窓口等で受け付けた移住相談件数	4,714人	2,446人
静岡U・I・ターン就職サポートセンター等で受け付けた就職相談件数	1,041人	600人

そのほかの 質問

繰越明許費について

平成28年度から29年度への繰越の内容と繰越した理由、執行状況について

消防団の充実について

女性団員、学生団員について

消防団応援条例の成果について

女性の活躍促進について

女性の活躍を更に推進するために、県としての取組について

住宅、建築物の耐震化について

本年1月に大規模なホテル・旅館など県内301施設の耐震診断結果を公表したが、その後の耐震化状況及び県の支援制度の活用状況について

ニホンジカ対策について

被害状況の具体的な説明と管理捕獲の具体的な取組について等質問をいたしました。

平成30年度静岡県県の要望・提案

(二部抜粋)

1 「命」を守る危機管理体制の充実

①「命」を守る危機管理

- 美しく、強く、しなやかな「ふじのくに」づくり計画（静岡県国土強靱化地域計画）による国土強靱化の推進
- 「内陸のフロンティア」を拓く取組（災害に強い地域づくりの推進）
- 南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた地震・津波対策の推進
- 富士山火山防災対策の強化
- 国の具体計画に基づく大規模な広域防災拠点の機能向上等に対する支援の拡充
- 原子力発電所の安全確保及び防災対策の強化
- 災害時における広域応援体制の確立
- 避難所運営体制の充実・強化の推進【新規】
- 治水関係事業の推進（※1）
- 港湾津波対策事業の推進（※2）
- 建築物等の耐震対策の強化
- 地域鉄道の鉄道施設の耐震対策及び災害復旧制度への支援
- 富士川河口断層帯等の地震対策の確立
- 消防救急広域化及び消防救急無線デジタル化に対する支援の充実
- 工業用水の安定供給のための管路等の更新の推進

2 徳のある人材の育成

①「有徳の人」づくり

②「憧れ」を呼ぶ「ふじのくに」づくり

3 豊かさの実現

①「一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造

②「和」を尊重する暮らしの形成

③「安心」の健康福祉の実現

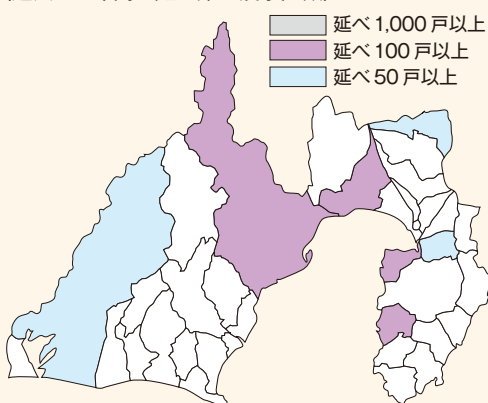
4 自立の実現

①ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり

②地域主権を拓く「行政経営」

5 その他

平成19～28年度の床上浸水被害実績
(過去10年間の延べ床上浸水戸数)



※写真はイメージです。



らち淳行

視察
報告



平成29年度静岡県議会危機管理くらし環境委員会の県内視察の一部を報告をいたします。
今回の視察により学んだ内容を地域防災をはじめ、焼津の活性化に役立てて行こうと思います。

焼津市消防防災センター

焼津市では、平成11年4月に同センター1階に開設した防災学習室を本年3月にリニューアルし、東日本大震災、熊本地震の揺れなどを体験出来る最新の地震体験装置や近年多発している異常気象を3D映像で体感できる風水害体験コーナーを設置しました。多言語にも対応し、市民の防災意識の向上に資する同施設の運営状況を視察しました。

焼津市はブラジル人など外国人が多く暮らすこともあり、館内案内を行うタッチパネルは英語やポルトガル語など6カ国語に対応しています。



地震体験



焼津市消防防災センター



風水害体験



情報パネル



陸上自衛隊による訓練((H28年7月))



空港西側隣接地

富士山静岡空港西側隣接地 (大規模な広域災害拠点)

平成27年3月30日付けで公表された国の「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」において、救助活動、医療活動、物資の受入れ等を総合的かつ広域的に行う「大規模な広域防災拠点」として、富士山静岡空港が位置付けられています。空港西側隣接地等の整備事業の進捗状況と空港西側用地の現況等を調査しました。

クルドサック16

県が豊かな暮らし空間創生住宅地として認定した16区画の分譲住宅地。クルドサックとはフランス語で袋小路を意味します。移住・定住を推進する事業の1つとして小山町が整備した分譲地の現状を視察しました。

「豊かな暮らし空間 創生事業」

「ふじのくに」ならではの多様なライフスタイルやライフステージへの対応として、生活と自然が調和する住まいづくり、まちづくりの普及や地域コミュニティの形成、景観に配慮した豊かな住環境を整備することにより、快適な暮らし空間の実現を図っていきます。



道路行き止まり部分の転回広場

コミュニティ道路

富士山エコパーク焼却センター



平成27年3月に竣工した御殿場市及び小山町の一般廃棄物処理施設。副生成物やエネルギーを有効活用し環境保全に配慮している。また展示スペース、シアター展示機能を有し環境学習の場にもなっている。循環型社会の形成を目指す最新の焼却施設の稼働状況を視察しました。

●多目的広場が芝生となっており、地域住民のコミュニケーションの場となっています。

●管理棟では、1階にごみについて学ぶ展示スペースを設け、2階のホールではシアター展示を行っています。

●工場棟では、稼働中のプラントを一般に公開し、見学者を受け入れています。

原子力防災センター



平成28年10月に完全運用を開始した施設の現状を視察しました。

治水関係事業の推進(※1)

- 床上浸水被害など深刻な被害を軽減するための根幹的風水害対策の推進
- 局地的豪雨等に備えたハード・ソフト対策が一体となった土砂災害対策の推進
- 長期的かつ広域的視点に立った総合的な土砂管理に基づく海岸保全対策の推進
- 短期的・長期的双方の視点に立った防災と景観を両立した施設整備の推進
- 被害最小化に向けた防災情報の高度化や基盤整備などの避難支援対策の推進
- 河川氾濫による犠牲者ゼロに資する洪水浸水想定区域の指定への防災・安全交付金事業による更なる支援の拡充(対象河川の拡大)

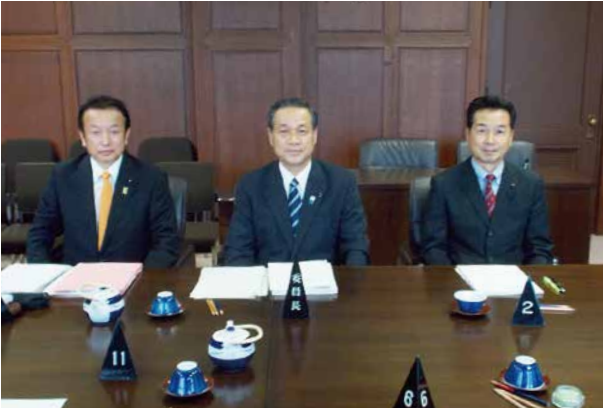
港湾津波対策事業の推進(※2)

- 切迫する大規模地震・津波被害に対して、地震・津波対策を推進する十分な予算の確保
- 耐津波性能を確保する清水港、御前崎港の防波堤の整備の促進
- 緊急輸送岸壁の耐震改良の整備促進
- 港湾機能の早期復旧を図るため、コンテナや貨物の流出防止施設を整備する交付金等事業制度の充実

議会運営委員会小委員長として

平成29年6月定例会意見書案 各会派提出件名について

現在、議会運営委員会小委員長として、各会派から提出される議案について審議、知事提出議案の選定について行ないました。



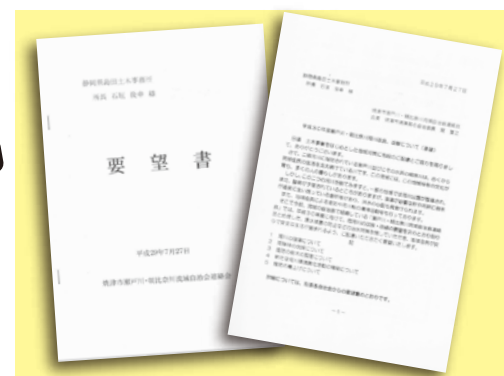
件名
●障害者の就業機会の拡大を求める意見書(案)
●二ホンウナギ資源の適切な管理と持続的な利用に関する意見書(案)
●奨学金制度の充実を求める意見書(案)
●海洋ごみの処理推進を求める意見書(案)
●水素ステーションの整備推進に関する意見書(案)
●交通安全対策の総合的な充実・強化を求める意見書(案)

らち淳行 活動報告



瀬戸川・朝比奈川流域自治会連合会の要望について

日頃から活動において、皆様からのご要望への対応を積極的に行っておりますが、継続しておこなっている、焼津市瀬戸川・朝比奈川流域自治会連合会の要望についての静岡県島田市土木事業所からの回答についてお知らせいたします。



焼津市瀬戸川・朝比奈川流域自治会連合会からの要望書

●要望書の提出と静岡県島田市土木事務所からの回答 二級河川瀬戸川・朝比奈川設備等の予算確保について

焼津第6自治会

- 瀬戸川高水敷を利用した広場の整備
要望のあったスロープ整備を行いました。要望の高水敷整備については、現在、保福島親水公園を整備中であることから、その次の河川環境整備事業(市負担金あり)による実施について、焼津市と調整していきます。

焼津第10自治会

- 瀬戸川堤防の樹木剪定と伐採
河川維持修理費で実施します。

焼津第7自治会

- 朝比奈川の浚渫と立木伐採の実施
豪雨災害緊急整備緊急対策事業で実施します。平成30年度も同規模を実施予定。
- 梅田川の早期改修
平成29年度から交付金で実施します。平成30年度から用地買収に着手する予定。

東益津第15自治会

- 朝比奈川河畔の樹木伐採及び堆積砂利・ごみ撤去
現場調査の上、今後実施していきます。

東益津第16自治会

- 新たな河川環境美化活動の仕組みの整備
リバーフレンドの仕組みを柔軟に運用していきます。
- 瀬戸川及び朝比奈川の下流部に堆積した土砂の除去
豪雨災害等緊急対策事業で実施します。平成30年度も同規模を実施予定。

東益津第16自治会

- 石脇川(内側斜面)整備事業の除外要望
現場調査の上、危険な箇所は県で実施する方向で調整していきます。

ふるさとにっごり通信 第23号
自民改革会議 静岡県議会議員

らち淳行 県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

発行 らち淳行 事務所 静岡県焼津市一色 488 TEL 054-631-6123

らち淳行公式ブログをご覧ください
活動内容をご報告しています

検索 らち淳行 思ったこと

<http://rachiatsuyuki.eshizuoka.jp/>

